

はくい



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

はくい
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/> E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

下肢閉塞性動脈硬化症



内科医師 茶谷 洋

概念

動脈硬化が原因で下肢の血管（動脈）が狭くなったり閉塞したりすることで血液の流れが悪くなる病気です。閉塞性動脈硬化症のある人は下肢の動脈だけでなく全身の血管にも動脈硬化をきたしている場合があり、心臓の血管の合併が3割、脳の血管の合併が2割の人で認められます。

原因

本来60歳から70歳代の男性に多い病気ですが、最近では若い人や女性の発症も増加傾向にあります。喫煙、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの動脈硬化症の危険因子が関係しているものと思われます。

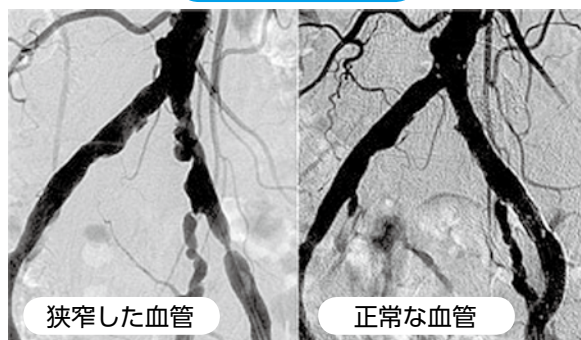
症状

歩いているときに下肢の筋肉に痛みを感じ、歩けなくなってしまう症状を間歇性跛行（かんけつせいはこう）といいます。間歇性跛行は閉塞性動脈硬化症を含め動脈に狭窄や閉塞があるときに生じる動脈の血行障害に特徴的な症状です。それ以外の症状としては、軽症である場合、足の冷感やしびれを感じます。より重症な場合は安静時に痛みを感じたり、足の指に潰瘍や壊死（えし）が生じることがあります。

検査

まず問診と触診が行われます。触診では足のつけ根、膝の後ろ、くるぶしの内側、足の甲にある4か所の動脈で脈が触れるかどうかを調べます。次に当院では心電図室で行われているABI（Ankle Brachial Pressure Index：足関節上腕血圧比）検査を行います。腕と足の血圧を同時に測り、正常な人は足の血圧は腕と比べて同じかやや高いため、その比は1以上です。もし下肢の血管が狭くなると足の血圧が下がるためその比は1以下になります。通常0.8～0.9以下になると、何らかの症状が出ます。次に超音波で血管の太さや血液の流れをチェックします。確定診断にはCT、MRIや血管造影検査が必要になります。

血管造影検査



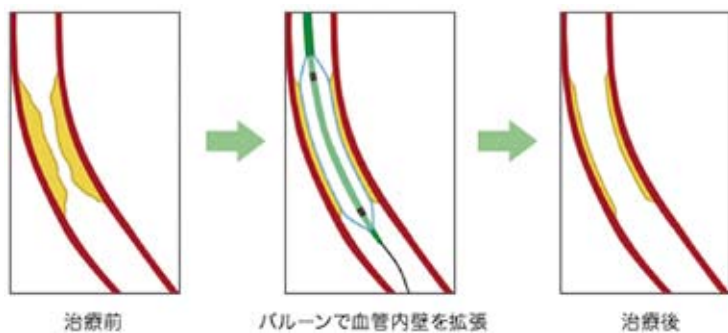
狭窄した血管

正常な血管

治療

大きく分けて薬物療法、運動療法、血管内治療、外科的（バイパス）手術があります。軽症例では薬物療法あるいは運動療法だけで治療が可能ながあります。運動療法では側副血行路が発達し下肢の血流が改善され症状の改善に効果があります。しかし歩くと足が痛くなる例や安静時にも症状がみられる例では、血管内治療や外科的（バイパス）手術の適応となることが多いです。最近の傾向として、メスや全身麻酔を使わず人体にやさしい治療法として注目される血管内治療（カテーテル血管形成術）を、まず行うケースが増えています。風船付きのカテーテルを用いて狭窄や閉塞の部分をつくらませることにより病変の治療を行います。同時にステントという金属の枠を血管に入れることがあります。最近では拡張に使う風船やステントの種類も豊富になり動脈の場所や狭さの性状によりそれぞれの患者さんに応じた最適な治療が出来るようになってきました。

カテーテル血管形成術



予後と生活改善

高齢化社会、食生活の欧米化や運動不足により、動脈硬化による血管病はますます増えてくるといわれています。血管性による足の病気の増加も例外ではありません。余命を確実に縮める足の病気にかからないために日常生活の過ごし方には留意しましょう。

糖尿病とフットケア

糖尿病対策チーム 副看護師長 田口 尚美

糖尿病患者さんは足に傷が出来たり（潰瘍）、足が黒く変色（壊疽）したりする**糖尿病足病変**という足の病気にかかる方が増えています。**糖尿病足病変**の増加の背景には、神経障害、血流障害等の合併症を持った人が増加している事があげられます。

靴に覆われた足は靴ずれや胼胝（たこ）、水虫などのトラブルを起こしやすく、特に糖尿病の方は足の手入れと異常の早期発見・早期対処が非常に重要です。

足は「第二の心臓」といわれています。糖尿病による足の切断は体の血液循環に大きく影響を及ぼします。足からみた糖尿病治療はとても大切です。糖尿病と毎日のフットケアについてよく知ることで、足切断のリスクを少なくしましょう。



▶▶ 毎日のフットケア ◀◀ (自宅で気を付けて欲しいこと)

- ▶ 毎日足を洗い、よく乾燥させて清潔に保ちましょう
- ▶ 皮膚が乾燥していたら保湿クリームなどを使用し、ひび割れなどを予防しましょう
- ▶ 胼胝（たこ）やうおのめを自分で削ったり、自己流で治療しないようにしましょう
- ▶ 厚くて切りにくい爪は無理をしないで、ご家族か看護師に切ってもらいましょう
- ▶ 足に異常が出たら、放置しないで、すぐ受診しましょう

糖尿病フットケア外来

日時：毎週火曜日 14時～16時
対象：糖尿病患者様で医師が必要と診断した方
予約制 1日3名

【フットケア内容】

- ・足の状態を観察・検査
- ・フットバスによる足浴
- ・爪のケア・爪切り
- ・足のケア・マッサージ
- ・足の手入れのアドバイス

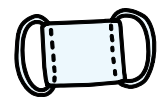
フットケア外来担当看護師
日本糖尿病療養指導士
村田信子 田口尚美 西村由記
問い合わせ先：内科外来（田口）



感染症を防ごう！

早くも冬場に流行する「マイコプラズマ肺炎」や小児がかかる「RSウイルス」の感染者が増加傾向と報道されています。寒くなるとインフルエンザやノロウイルスも流行し始めます。感染症にかからないように気をつけましょう。

- ① 咳・くしゃみの症状がある時はマスクを着用。マスクがない時は、口と鼻をティッシュなどでおおう。
- ② 咳・くしゃみをする時は周りの人から顔をそむける。
- ③ 鼻水、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱に捨てる。
- ④ 帰宅時や食事前に適切な手洗い。石鹸と流水で30秒以上かけて爪先から手首までしっかり洗う。
- ⑤ (ノロウイルスの場合) 吐物や便は、マスクと手袋をして処理し、口・鼻から吸い込んだり、手から口に入らないようにする。汚れた場所は塩素系消毒剤で消毒する。



西側増改築部分が完成



平成25年12月完成を目指し、耐震増改築工事を行なっています。地域の皆様には騒音等長い間大変ご迷惑・ご不便をお掛けしております。8月末に工程1の西側増改築部分が完成しましたので、変更点をお知らせします。

【外来部分】

- ① 9月1日より救急室、眼科、形成外科、皮膚科、泌尿器科外来、手術室が西側増改築部分に移動。
- ② 外科が元の場所の整形外科横へ移動。
- ③ 9月1日より時間外出入口を西側増改築部分に新設し、防災センター移動。
- ④ 正面玄関を利用できる時間帯
 - 平日の診療日： 7：30～17：30
 - 第2・第4土曜日の診療日： 7：30～13：00
 - 上記時間帯以外は時間外出入口をご利用ください



授乳室



時間外出入口



救急室



西側診療受付付近

外来診療時間について

- ◇ 診療受付時間は午前8時15分～11時30分、午後2時～3時30分
 - ◇ 午後は診療科によって診察できる曜日が異なりますのでご注意ください。
 - 内科・小児科（月～金） 外科（急患のみ） 整形外科（月・水） 形成外科（火のみ）
 - 皮膚科（月・水・金） 泌尿器科（月・火・金） 産婦人科（金のみ）
 - 耳鼻咽喉科（月2：30迄・火） 脳神経外科・眼科（休診）
- ※変更もございますので問い合わせ下さい。
- ◇ 午後3時30分以降は**急患のみ対応**

【病棟部分】

副院長補佐 荒井 謙一

当院では皆様に快適な療養環境を提供するため様々な取り組みを行なってまいりました。その一環として、これまで使用していた病棟の改築に合わせ新しく西側に新病棟の増築を行い、この9月1日にオープンしました。10月23日より従来の4病棟から3病棟での運営となります。

快適な環境の充実を第一に考え、いくつかの取り組みを行いました。

- ①病室を6人から4人部屋以下とし、ベッド間の距離を広くすることで、個々のプライバシーに配慮。
- ②十分な広さを確保したデイルームなどくつろげる環境の整備。
- ③フリー・インターネット環境の整備。(現在準備中。パソコン・タブレットはご自分で準備)

新病棟各病室の窓から一望できる宝達山・日本海の眺望はすばらしく、皆様の心を癒してくれることと思います。

今後も、「人にやさしく、信頼される病院」の理念のもと、地域医療に貢献し、地域の皆様の要望に応えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



工事予定

工程	工事期間	工事概要
2	24年 9月～24年10月	改修工事 (既存2、3、4階病棟など)
3	24年10月～24年12月	改修工事 (2階東病棟の機能を増改築部分に移転後、管理部門に改修)
4	25年 1月～25年 3月	撤去工事 (現管理棟)
5	25年 4月～25年10月	増築工事 (新管理棟)
6	25年10月～25年12月	外構工事 (新管理棟付近)

今後ご不便をお掛けしますが宜しくお願い致します。

◇工事車両には十分ご注意ください。

◇来院される方は、病院正面駐車場と西側駐車場をご利用ください。



職場体験

一生の仕事探し

リハビリテーション科士長 北谷 正浩

近年、高校生はもちろん中学生も、リハビリテーション科の職場体験を希望する生徒が続いています。ほとんどの生徒が、人の役に立つ職業、やりがいのある職業と考えて体験を希望してきており、昔に比べると明らかにリハビリテーション専門職が周知されてきています。野球やサッカーなどスポーツに関わる予防的リハビリテーションや、高齢者の脳卒中後の理学療法・作業療法・言語療法の様々な場面を体験してもらいました。実際の仕事内容を少しでも理解してもらえたら良いと思います。

患者さんは麻痺や怪我で、元気なときには気づかなかった手足の重さと不自由さを感じ、その手足がリハビリテーションで動かし易くなることで元気を取り戻します。少しでも早く元気になれるよう手助けをするリハビリテーション専門職を、「やりがいのある一生の仕事」として選んでいただければと思っています。



医師



リハビリテーション科



看護師



体験校

邑知中学校	3名
羽咋高校	12名
鹿西高校	5名
羽咋中学校	13名

他に臨床検査科、放射線科、薬剤科でも体験しました。

感想文やお便りより 一中高生の声一

- ◇理学療法・作業療法・言語療法は人の助けになるので、将来このどれかの職業につけばいいなと思いました。
- ◇医者が患者さんを治療するのは違い、看護師は患者さんに不自由が無いようにするだけでなく、言葉で心もケアする仕事なんだなと思いました。
- ◇初めて臨床工学技士という免許を持った人を知りました。生命維持装置などを操作するのは看護師さんだと思っていましたが違ったので驚きました。

新採職員紹介

よろしくおねがいします

外科医師 おの 大野 ゆかこ 由夏子

専門分野：消化器全般、乳腺
 血液型・星座：AB型 双子座
 趣味：旅行
 一言：元気にがんばります。
 よろしくお願ひします。



看護大学学生実習を受け入れて



外来副看護師長 北 信代

当院では、今年度はじめて石川県立看護大学4年生10名の統合実習を受け入れました。

実習は外来をはじめとする継続看護の実践から、人々の健康生活を支援する保健・医療・福祉体制の実際を理解し、チーム医療の中で看護師としてのメンバーシップを実践する能力を養うことが目的でした。外来診療科や医療サービス推進室、血液浄化センター、リハビリテーション科を担当し、それぞれ患者様を受け持ち、情報収集や面談などを行いました。

外来診療科では糖尿病患者様の栄養および生活指導、退院後の看護連携について、医療サービス推進室では退院調整カンファレンスに参加し社会資源の活用方法や地域医療連携のあり方について、血液浄化センターでは部門の特殊性を学ぶことができました。

実習終了後のカンファレンスでは「多職種で支えている」「医療者との信頼関係ができている」「地域に密着した病院であると感じた」などの感想もあり、私たち看護師も学生時代のことを思い出しながら初心に帰ることができました。

なお、患者様、ご家族の方々にはご協力いただき、ありがとうございました。

9月1日には看護大学さんに外来改修に伴う引っ越しの手伝いまでしていただき、有意義な交流が持てました。今後も看護学生の実習のお役に立てればと思います。



禁煙指導の出前講座

日本禁煙学会を通じて（株）ハクイ村田製作所より禁煙指導の依頼がありました。

日本禁煙学会専門指導保健師の山中と専門指導看護師西田が、5月31日（木）17時30分から1時間あまり出前講座に行ってきました。ちょうどこの日は世界禁煙デーでした。

20～50歳代の約20名の従業員の方々が興味を持って聞いてくださいました。内容は喫煙による健康被害について、当院の禁煙ワーキンググループの活動について、病院勤務ならではの実感を受けた禁煙の重要性についてお話しし、次に実際の禁煙外来における治療内容の説明と禁煙中のメンタルヘルスケアの体験学習を行いました。



講座に参加された方から「禁煙を考えるきっかけになった。」「機会があったら止めようと思った。」「身体への負担や影響が聞いて良かった。」等の感想がありました。

禁煙は、いつでも出来そうなのになかなか出来ないし続かないと思っている方が多いですが、いつからでも始められます。何らかの後押しのきっかけやサポートがあれば、だれでも禁煙は出来ます。自分の健康のため、家族のため、禁煙にチャレンジする方を応援します。

禁煙外来看護師 西田 薫

出前講座受付中

～どこでもお話に行きます～

詳しくは医療サービス推進室にお尋ねください

内容

- ・手洗いについて
- ・禁煙のすすめ
- ・高血圧予防
- ・メタボリックシンドローム予防
- ・骨折予防の体操 など

看護学生のための看護師修学資金貸与制度をご利用下さい。

この制度は、看護師等養成施設を卒業後、公立羽咋病院で就業することが前提の貸付制度です。
 看護師等を目指し看護師養成施設に在学中の方、入学が決定した方で、将来公立羽咋病院で看護師等の業務に従事しようと希望される方が対象となります。

- ※ 平成 25 年度も募集いたします。
- ※ 詳しくは、公立羽咋病院総務課までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 TEL: 0767-22-1220 E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

やすらぎコンサート

6月29日(金) 宮本光子さん、ピアノ伴奏堀田泰子さんによるミニミニコンサートを開催しました。親しまれた歌曲と石川伝承のわらべ歌の独唱でした。澄み切った歌声がホールに響き、地域の方々もたくさんお越しくださいました。

8月30日(木)には安島愛里さんのフルートのコンサートを開催しました。タイタニック愛のテーマ、ディズニー音楽など演奏してくださいました。最後には『川の流れのように』を皆さんで合唱しました。

10月4日(木)は勝美会の皆さんがお越しくださいました。『長良川艶歌』『花笠音頭』などの曲に合わせた踊りでとても賑やかに終幕しました。

今後もコンサートを企画していきます。日程は不定期ですが、院内にポスターなどでお知らせしております。地域の皆さんもぜひお越しください。

医療サービス推進室 喜佐 彰子



いきいき健康づくり教室

♪どなたでも参加できます♪

「コレステロール・あぶらで血がどどど」

開催予定日: 10/3(水)、11/7(水)、12/5(水)

第1水曜日 15:00~
 場所・1階情報プラザ前ホール
 内科医師、栄養士

「高血圧・塩で血管がパンパン」

開催予定日: 10/15(月)、11/19(月)、12/17(月)

第3月曜日 15:00~
 場所・1階情報プラザ前ホール
 内科医師、薬剤師、栄養士、看護師

「ねたきりにはならない！」

開催予定日: 10/24(水)、11/28(水)、12/26(水)

第4水曜日 15:00~
 場所・1階情報プラザ前ホール
 整形外科、理学療法士、看護師

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若葺会 岡部 和子 様 他
- ♥ 園児の絵 こすもす保育園 (スペシャルジュース39) 西北台保育園 (どんぐり)
- ♥ 折り紙作品 退院患者様

